

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末において発生していると認められる額を、期末の自己都合による要支給額に基づいて計上している。

・賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

所有権移転を伴わないファイナンスリース取引については、通常の賃貸取引に準じた会計処理を行っている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	785,000	0	0	785,000
地域貢献事業実施準備資金	5,500,000	1,000,000	0	6,500,000
小 計	6,285,000	1,000,000	0	7,285,000
合 計	11,285,000	1,000,000	0	12,285,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	5,000,000	0
小 計	5,000,000	0	5,000,000	0
特定資産				
退職給付引当資産	785,000	0	0	785,000
地域貢献事業実施準備資金	6,500,000	0	6,500,000	0
小 計	7,285,000	0	6,500,000	785,000
合 計	12,285,000	0	11,500,000	785,000

4. 引当金の明細

引当金の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目的使用	その他	
退 職 給 付 引 当 金	785,000	0			785,000
賞 与 引 当 金	1,009,200	1,050,000	1,009,200		1,050,000
合 計	1,794,200	1,050,000	1,009,200	0	1,835,000

5. 担保にしている資産 該当なし

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補 助 金 等 の 名 称	交 付 者	前期末残高	当 期 末 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表上の記載区分
補助金 県連補助金	一般社団法人 埼玉県法人会連合会	0	1,590,000	1,590,000	0	一般正味財産
助成金	公益財団法人	0	21,512,500	21,512,500	0	指定正味財産
全法連助成金	全国法人会総連合	0	663,000	663,000	0	一般正味財産
合 計		0	23,765,500	23,765,500	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
計上収益への振替額	
事業費計上による振替額	21,512,500
経常外収益への振替額	
目的達成による指定解除額	0
合 計	21,512,500

8. 関連当事者との取引の内容 該当なし

9. 重要な後発事象 該当なし

10. その他

正味財産期末残高30,479,543円から基本財産5,000,000円と特定資産6,500,000円を控除した額18,979,543円は遊休財産の限度額45,908,806円を26,929,263円下回った。新型コロナウイルスが感染症法上2類から5類に移行し徐々に支部事業等も増加しており、令和2年度に基準超過となった遊休財産規定は十分クリアしている。